

項目	内容
名称	スカルクアップ、ヴァージニアタツナミ [英]Skullcap、Scullcap、Virginian skullcap、Mad dog [学名]Scutellaria lateriflora
概要	スカルクアップは、シソ科の多年草で、高さ30～100 cm程に生長する。日本では、根が「専ら医薬品」に該当するため、根を食品に使用することはできない。なお、バイカルスカルクアップ (学名 : Scutellaria baicalensis) とは別の植物である。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。 ・根以外：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・フラボノイド (バイカリン (baicalin)、バイカレイン (baicalein)、ウオゴニン (wogonin)、scutellarin、laterifloreinなど) やリグニン、レジン、タンニン、揮発性油などを含む (PMID:12713409)。
分析法	・スカルクアップに含まれるフラボノイドを、HPLC-UV法、HPLC-MS法、TLC法にて分析した (PMID:12852558) (PMID:18445366) (PMID:14692724) (PMID:15826062) (PMID:18786819)。
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	RCT ・健康な成人19名 (男性4名、女性15名、20~70歳、アメリカ) を対象とした二重盲検クロスオーバープラセボ対照試験において、スカルキャップ抽出物を100~350 mg、単回投与したところ、不安の評価スケール値が低下したとの予備的な報告がある (PMID:12652886) が、この現象についてはさらなる検証が必要である。
	免疫・がん・炎症	調べた文献に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献に見当たらない。
	肥満	調べた文献に見当たらない。
	その他	調べた文献に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
[\(PMID:2513032\) BMJ. 1989 Nov 4;299\(6708\):1156-7.](#)
[\(PMID:12852558\) J AOAC Int. 2003 May-Jun;86\(3\):453-60.](#)
[\(PMID:18445366\) J Pharm Pharm Sci. 2008;11\(1\):77-87](#)
[\(PMID:10230761\) Am J Med. 1999 Feb;106\(2\):267-8.](#)
[\(PMID:12652886\) Altern Ther Health Med. 2003 Mar-Apr;9\(2\):74-8.](#)
[\(PMID:12713409\) J Nat Prod. 2003 Apr;66\(4\):535-7.](#)
[\(PMID:14692724\) Phytomedicine. 2003 Nov;10\(8\):640-9.](#)
[\(PMID:15826062\) J Agric Food Chem. 2005 Apr 20;53\(8\):3076-80.](#)
[\(PMID:18786819\) Phytomedicine. 2009 May;16\(5\):485-93. Epub 2008 Sep 10.](#)
[\(PMID:18318821\) J Gastroenterol Hepatol. 2008 Mar;23\(3\):366-73.](#)
[\(PMID:25153228\) Drug Metabol Drug Interact. 2014;29\(4\):269-79.](#)
[\(PMID:6779941\) Br Med J \(Clin Res Ed\). 1981 Jan 17;282\(6259\):186-7.](#)